

概 況

1 畜種別取扱高

平成9年中の東京都食肉市場における畜産物の総取扱高は、頭数48万1千余頭、重量9万4百余トン、金額1,061億8千余万円となっており、前年と比べ、頭数で3.5%、重量で2.8%、金額で8.7%それぞれ増となった。

畜種別にみると、牛の取扱高は、頭数14万6千余頭、重量6万1千余トン、金額920億6千余万円で、前年比は頭数で3.3%、重量で2.2%、金額で9.3%それぞれ増であった。

豚の取扱高は、頭数33万4千余頭、重量2万9千余トン、金額141億9百余万円となっており、前年比は頭数で3.5%、重量で4.3%、金額で5.3%それぞれ増であった。

(※参照 表1)

2 産地別取扱高

牛では、頭数、重量は、栃木県が2万4千余頭、9千8百余トンを出荷し、18年連続の第1位であった千葉県と入り替わり第1位となった。栃木県の頭数は前年比で17.9%上回り、重量は16.0%増であった。

また、栃木県の東京都食肉市場全体に占める割合(以下、この項において「構成割合」という。)は、頭数で16.9%、重量で16.1%に及んでいる。第2位は千葉県、第3位は頭数で宮城県、重量で茨城県となったが、宮城県は頭数、重量とも前年実績を下回り、頭数で4.7%、重量で5.0%減となった。

金額は、栃木県が140億4千余万円で3年連続第1位となり、構成割合は15.4%となっている。以上の四県に岩手県を加えた「五県」の構成割合は、頭数で62.9%、重量で59.4%、金額で59.1%と全体の半数を超えている。輸入部分肉は、前年実績の重量で96.1%に減少、金額では126.4%に増加した。

また、米国、豪州の2カ国の輸入重量は、全体の99.8%を占めている。

豚では、千葉県が頭数、重量、金額とも前年同様第1位となり、前年と比べ頭数で4.5%、重量で2.8%、金額で0.8%それぞれ増加した。千葉県、茨城県、岩手県の上位「三県」の構成割合は、頭数70.9%、重量62.4%、金額58.1%と全体の半数を超えている。輸入部分肉は重量で5.6%、金額で6.4%減となった。

(※参照 表1～2)

3 年間市況

牛の全国取引頭数(成牛)は、133万余頭で対前年比3.6%減となっており、このうち東京都食肉市場の取引頭数は、14万6千余頭で全国取引頭数の11.0%を占めている。

東京都食肉市場における年間平均価格は、1kg当たり1,484円で、前年に比べ7.3%増(101円高)となっている。これを月別にみると、1月は1,433円と前年同月より91円高く始まり、2月以降は12月で前年同月比で上回り、12月の1,658円(96円高)を除くとほぼ1,400円台を推移し、前年と比べ堅調であった。

豚の全国取引頭数は、前年比1.0%減の1701万5千余頭となっており、このうち、東京都食肉市場の取引頭数は、33万4千余頭で全国取引頭数の2.0%を占めている。

東京都食肉市場における年間平均価格は、1kg当たり481円で前年に比べ0.6%増(3円高)となっている。これを月別にみると、1月は404円と前年同月より34円安く始まり、2月、3月は前年同月比で下回り、4月以降9月までは上回った。7月に年間の最高値602円(前年同月と比べ10.5%増、57円高)を付けた。10月、11月は一端値を落したものの、12月で前年同月を上回る価格となった。年間を通し平均価格は前年と比べやや強含みで推移した。